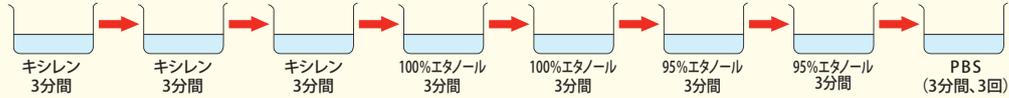


# 操作手順

\* 各ステップでの反応温度、反応時間は厳密に守ること。  
 \* 特に温度指定のない場合は、常温（15～25℃）で操作すること。  
 \* 染色結果に影響を及ぼす為、必ず下記の操作手順に従って操作を行うこと。

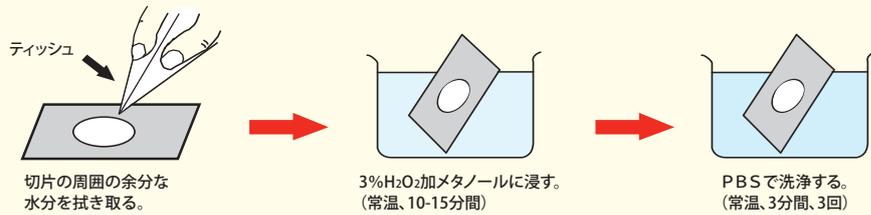
## ヒストファイン SAB-POキット

### ●脱パラフィン（パラフィン包埋切片）

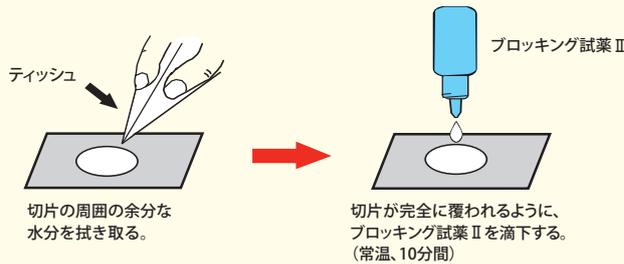


\* 各ステップごとによく液を切る。  
 \* 脱パラフィンを完全にするために、各溶液はスライド40枚ごとに取り換えることが好ましい。

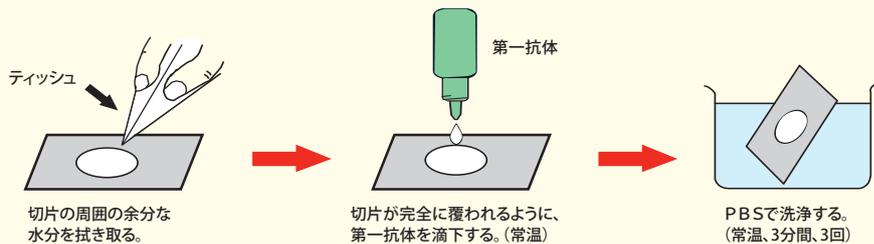
### ●ブロッキング試薬Ⅰによる処理（3%過酸化水素加メタノールによる内因性ペルオキシダーゼ除去）



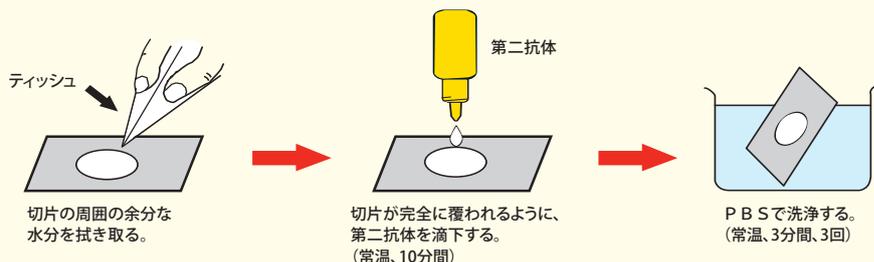
### ●ブロッキング試薬Ⅱによる処理（正常血清によるブロッキング）



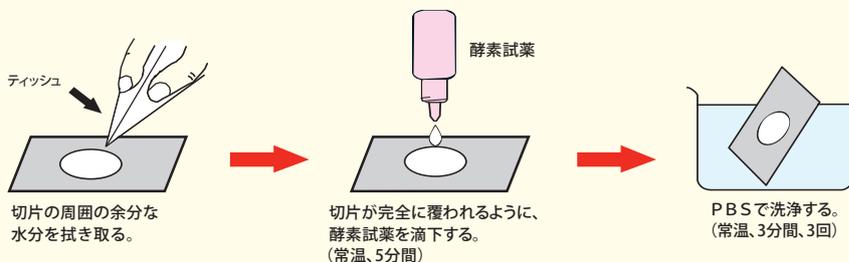
### ●第一抗体の添加・反応



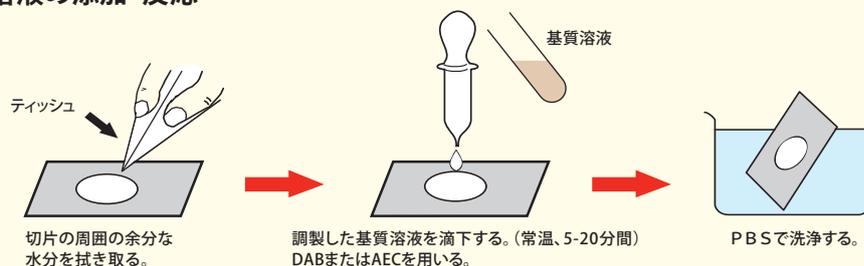
### ●第二抗体（ビオチン標識抗免疫グロブリン）の添加・反応



## ● 酵素試薬の添加・反応



## ● 基質溶液の添加・反応



\*各種基質溶液の他シンプルステイン基質も使用できます。

## ● 対比染色

## ● 封入

基質溶液がAECの場合は、このまま水溶性封入剤で封入する。  
 基質溶液がDABの場合は、水洗、脱水、キシレンによる透徹後、非水溶性封入剤で封入する。

\*抗原賦活化処理および各反応条件等については、電子化された添付文書または使用説明書に従う。

\*操作中の反応は、湿潤箱の中で行う。

